

# 中小企業における創発型責任経営の実践 —鳥取県内企業を対象として—

経営学部経営学科 島田善道  
関西大学総合情報学部 中尾悠利子

## 要約

本稿では、「無限責任の考え方に基づき、従業員による主体的な活動を奨励して、創発的な実践を生み出す経営」としての創発型責任経営に着眼し、鳥取県地域の中小企業を対象としてその実践事例を取りあげた。先行研究から中小企業の創発型責任経営実践の条件として、(1)レスポンスビリティとしての責任を軸に従業員が主体的かつ能動的に環境・社会課題対応に取り組むことを促すマネジメント、(2)地域社会や組織内外の人々との関わりの中で当初は想定されていなかった「創発」とそれによる価値創造、(3)従業員が主体的にかつ能動的に、活動が自然といかせる責任を模索する場のデザインの創出の三点を抽出した。その上で、鳥取県内企業の中で、SDGsが提唱される以前から環境課題や社会課題に取り組む4社の実践が上記三条件に合致し、従業員による主体的かつ能動的な創発型責任経営が実践されていることを明らかにした。

本文は、中尾悠利子・島田善道（2023）「中小企業における創発型責任経営の実践—鳥取県内企業を対象として—」『サステイナブルマネジメント』第22巻、認定特定非営利活動法人 環境経営学会、64-75頁に掲載。